

2016年度 検索技術者検定

1級 試験問題(後半)

注意事項

1. 着席したら、受験票を机の上に置いて下さい。
2. 解答用紙の所定の欄に受験番号・氏名を必ずご記入下さい。
3. 解答時間は、15：15～16：15の60分間です。
4. 中途退席はできません。
5. 問題は1問、全1ページ、解答用紙は6ページです。確認の上、落丁・乱丁・印刷不鮮明のもの等がありましたら、手をあげて試験官にお知らせ下さい。
6. 解答は、問題文の指示にしたがい、解答用紙にご記入下さい。
(解答用紙裏面への記入は無効です。)
7. 問題の内容に関する質問は一切できません。
8. 試験問題は持ち帰って結構です。
また、受験票を忘れずにお持ち帰り下さい。

問2 「第4次産業革命」とも呼ぶべき、ビッグデータ、ディープラーニング、人工知能による技術革新は、従来にないスピードとインパクトで進行している。中でも人工知能については、人間を超える高度な判断が可能になるといった国家予測等も出されており、既に、自動運転技術等の幾つかの領域において、人間の役割のサポート・代替に向けた研究が精力的に進められている。

調査業務の一例として、国際訴訟における証拠調査を人工知能によって行うシステムが既に実用化されている。また、特許庁は先行技術調査を含めた業務プロセスにおける人工知能の適用可能性について、2016年度から実証実験を開始している。

今後、人工知能の発達に伴ってインフォプロの存在意義も変化していくと考えられる。5年後の人工知能の発達を考慮して、(1)適切な表題、(2)今後のあなたのインフォプロとしての存在意義と役割、(3)今後のあなたの所属機関または組織の存在意義と役割について(1)、(2)、(3)を合計して、1600文字程度で論述しなさい。なお、論述にあたり、以下の項目を盛り込みなさい。

【論文に盛り込む内容】(順不同で良い)

- ・所属機関または組織とそこでのあなたの位置づけ
- ・あなたが想定するところの進化した人工知能が可能にしている業務内容

※人工知能としては以下を想定するものとする。

◇第3世代以降の「ヒトの能力を超えることが一部では可能になった人工知能」